



文化庁委託事業  
「平成28年度戦略的芸術文化創造推進事業」



“Music for Peace”

# Charles Richard-Hamelin

2015年のショパン国際ピアノ・コンクールで2位に輝き  
注目を集めるシャルル・リシャル＝アムランとともに、  
広響が世界に向けて平和の音楽を奏でる——

## HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



Kazuyoshi Akiyama

### 「Music for Peace」

指揮：秋山和慶 ピアノ：シャルル・リシャル＝アムラン  
藤倉大：infinite string  
ショパン：ピアノ協奏曲第2番へ短調Op.21  
ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調Op.67「運命」

“Music for Peace”のために海外から招聘する特別メンバーも出演します  
シンフォニア・ヴァルソヴィア  
ヴァイオリン：スタニスワフ・ポデムスキ  
フルート：アンジェイ・クシェザノフスキ  
モントリオール交響楽団  
コントラバス：アリ・ヤズダンファー  
ホルン：ジョン・ザーベル

2017.2.16 **木** 18:45開演 [17:45開場] 広島文化学園HBGホール

全席指定(税込)  
S席/¥5,200 A席/¥4,700  
B席/¥4,200 学生/¥1,500

チケット取扱：11月16日(水)  
エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器  
ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)  
ローソンチケット(Lコード：61899)、チケットぴあ(Pコード：309-552)、広響事務局(学生は広響事務局のみ販売)  
※広響コンサート会員、中国新聞ちゅーピークラブ、マロニエカード(ひろしま美術館)、JAF会員は割引があります。

お問い合わせ：広響事務局 TEL:082-532-3080 ※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する可能性があります。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

主催：文化庁、公益社団法人広島交響楽協会 制作：公益社団法人広島交響楽協会

共催：中国新聞社 後援：ポーランド広報文化センター、カナダ大使館



広響公式ホームページ

日本・ポーランド プロジェクト2016-2020  
広島交響楽団 フラグシップ・コンサート  
“Music for Peace”

2015年のショパン国際ピアノ・コンクールで2位に輝き  
注目を集めるシャルル・リシャル＝アムランが  
本選で聴衆を魅了したショパンの協奏曲第2番で広響と協演。  
広島市と姉妹都市であるカナダ・モントリオール市出身のアムランと  
故郷のオーケストラ、モントリオール交響楽団、  
そして昨年7月の広響との共演が記憶に新しい  
シンフォニア・ヴァルソヴィア(ポーランド)のメンバーとともに  
広響が世界に向けて平和の音楽を奏でます。



指揮 秋山 和慶 Kazuyoshi Akiyama, Conductor

1941年生まれ。トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現・桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督、東京交響楽団音楽監督/常任指揮者(現・桂冠指揮者)、九州交響楽団ミュージック・アドバイザー/首席指揮者(現・桂冠指揮者)を歴任。サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2014年文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年6月、渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。終戦・被爆70年を迎えた2015年8月、広島と東京サントリーホールで開催された広島交響楽団「平和の夕べ」コンサートを指揮、特にマルタ・アルゲリッチとの協演は大きな注目を集め、改めてその手腕が高く評価された。現在、広島交響楽団音楽監督/常任指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティスティック・ディレクター/プリンシパル・コンダクター、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

ピアノ シャール・リシャル＝アムラン Charles Richard-Hamelin, Piano

2015年ショパン国際コンクール第2位。クリスチャン・ツィメルマンプライス(ソナタベスト・パフォーマンス賞)を同時に受賞したシャルル・リシャル＝アムラン。2014年、モントリオール国際音楽コンクール第2位、ソウル国際音楽コンクール第3位、同時にベートーヴェンのソナタに対する特別賞受賞。2015年トロントのウーマンズ・ミュージカルクラブより特別なキャリアアップ賞を受賞。ポール・サルダレスク、サラ・ライモン、ボリス・ベルマンに師事し、マックギル大学を2011年に卒業。2013年イエール大学でマスター課程を修了し、両大学から全面的な奨学金を受けた。2016年モントリオール音楽院を卒業。ピアニスト、ジャン・サウルニエとともに後進の指導にあたっている。2015年9月にショパン後期の作品を収録したファーストCDを発売。2016年にセカンドCDがリリース予定。これまでにワルシャワ・フィル、モントリオール・シンフォニー、コリアン・シンフォニー、イ・ムジチ・デ・モントリオール等と共演。2016年、日本でのリサイタル・デビュー公演は各地で絶賛された。楽器と一体化して紡ぎだされる温かい音、謙虚で成熟度の高い演奏は、早期より世界中のメディアから絶賛されている。



フラグシップ・コンサート  
“Music for Peace”

—2020年に向けて

東京オリンピックが開催される2020年に向けて、国際平和文化都市であり世界的な認知度を持つ「広島」のオーケストラとして、世界に音楽文化と平和発信する5カ年計画を企画し実現に向けて取り組んでまいります。2020年が生誕250年となるベートーヴェンの作品で、文化芸術を高らかに奏でることにより、文化の祭典としてのオリンピックを盛り上げたいと考えています。

—事業の指針

- 日本国内そして世界に向けた平和メッセージと文化発信を広島から行います。
- 世界的な平和発信のためにポーランド縁の芸術家との交流を行います。
- 海外への情報発信も積極的に行います。

以上の事業指針のきっかけとなったのは、ショパン国際ピアノ・コンクールで深くポーランドと係わりを持ち、「原爆投下とホロコーストを第2次世界大戦でのもっとも恐ろしい犯罪」とし、“Music Against Crime” — 「音楽は人を愛することを育み、人を傷つけさせる気持ちを萎えさせる力」と言うマルタ・アルゲリッチ氏(広響平和音楽大使)の信念と当団のテーマ、“Music for Peace”が共感したことに因ります。